

第143回秋田県種苗交換会 選賞一覧表



審査概評

第143回秋田県種苗交換会 審査長 金 和 裕

本年の1月から3月は平年より気温が高く経過し、降雪量が少なかったため、消雪時期が早まりました。4月から5月にかけては曇りや雨の日が多く、4月下旬には寒気の影響で低温傾向となりました。また、6月は上旬から中旬にかけて晴れの日が多く、平年よりも高温傾向となりました。梅雨入りは6月25日ごろと平年より11日、昨年より10日遅くなりましたが、8月上旬にかけて曇りや雨の日が多くなり、梅雨明けの時期は特定されませんでした。7月27日から28日にかけては記録的な大雨により、農地が浸水するなどして農作物に大きな被害を受けた地域がありました。8月下旬から10月上旬は高温で経過しました。

本年は、このように長雨や高温等で農産物の生育に影響を及ぼす気象となりましたが、生産者の皆様のご努力により、1,204点が出品され、各部門とも品質の高い農産物等が多く見られました。

審査にあたっては、それぞれの農産物の品種特性、品質、市場性などに重点を置いて厳正かつ公平に審査を行いました。

各部門の審査概要は次のとおりです。

第1部 水 稲

出品点数は51点で、品種別では、「あきたこまち」が全体の43%で、次いで「めんこいな」が22%、「ゆめおばこ」、「秋のきらめき」がそれぞれ10%となっております。地域別では、仙北の出品点数が32点と最も多く、秋田が13点、平鹿が4点、北秋田、山本がそれぞれ1点となっております。

本年は、平年に比べ穂数はやや多く一穂粒数は並でm当たり粒数はやや多くなっております。また、出穂期は平年並となっております。6月末から7月にかけての多雨・寡照や8月下旬からの高温による影響が懸念されましたが、出品財は茎葉や穂のボリューム感に優れた籾の充実の良いものが多く、きめ細やかな栽培管理により厳しい気象条件を克服した

農家の高い技術と努力のあとがうかがわれます。

品種別入賞点数は、「あきたこまち」が10点、「めんこいな」が7点、「ゆめおばこ」、「たつこもち」、「秋田酒こまち」が各1点となっております。地域別入賞点数は、仙北が11点、秋田が5点、平鹿が2点、北秋田、山本が各1点となっております。入賞した出品財はいずれも品種特性がよく表され、根や茎葉も健全で籾の充実が良く、病虫害のない秀品揃いで、栽培管理技術の高さが評価されます。

第2部 畑作物及び工芸作物

出品点数は150点で、このうち豆類が59点(39.3%)、いも類が18点(12.0%)、葉たばこが59点(39.3%)、ホップが14点(9.4%)、雑穀は出品が無く、昨年より95点少なくなっております。

豆類の出品は、子実大豆が43点、株大豆が15点、落花生が1点で、大豆の品種は子実大豆、株大豆ともにすべて「リュウホウ」となっております。子実大豆は、6～8月の日照不足を克服し、粒大や粒揃いに優れ、病虫害の少ない優品揃いです。株大豆は、品種の特性を表しており、病虫害も少なく、健全な株が多く出品されております。

いも類の出品は、馬鈴しょは「メイクイン」など4品種7点、甘しょが「シルクスイート」など5品種11点で、品種の特性をよく表わした、形状・品質の揃ったものとなっております。

葉たばこの出品は59点で、品種はすべて「第1バーレー種(たいへい)」となっており、品種特性を兼ね備えた素質の良いものが多くみられます。

ホップの出品は14点で、品種は「キリン2号」と「かいこがね」となっており、毬花(まりばな)の揃いと香気に優れたものとなっております。

第3部 果 樹

出品点数は206点で、県北、中央、県南別では、県北が24%、中央が22%、県南が54%で、地域別で

は開催地の平鹿が82点で全体の40%を占めて最も多く、次いで秋田41点で20%、鹿角27点で13%の順になっております。

樹種別では、りんごが121点で全体の59%と最も多く、次いで日本なしが49点で24%、ぶどうが17点で8%であり、以下、キウイフルーツ、くりが各2点、マルメロ、ぎんなん、パッションフルーツが各1点、果実グループが柿2点、果実包装荷造がりんご9点、西洋なし1点で、10樹種33品種が出品されております。

品種別では、りんごの「ふじ」が全出品数の22%と最も多く、次いで「秋田紅あかり」と「シナノスイート」が9%、「シナノゴールド」が7%、「ぐんま名月」が5%、日本なしの「あきづき」が10%、「秋泉」が7%、ぶどうの「シャインマスカット」が4%とこれら10品種で約7割を占めました。

出品の特徴として、りんごでは優良着色系の「ふじ」や甘系で着色良好な「秋田紅あかり」、「シナノスイート」、日本なしでは果形良好で大玉な「あきづき」や高糖度で食味良好な「秋泉」、ぶどうでは種なし大粒の「シャインマスカット」など、消費者に人気の高い品種が多く出品されており、市場性の高い品種への更新が着実に進んでいることがうかがえます。

本年の生育は、開催地の平鹿のりんご、ぶどうや秋田の日本なしなどで春から降雹や降霜被害に見舞われたり、7月の長雨による日照不足や多雨、さらには8月下旬から9月にかけての猛暑の影響により、果実病害やハダニ、果実の日焼けの発生などによる減収や品質低下が心配される厳しい栽培環境となりました。

このような中であっても、病害虫の発生は一部にとどまり、出品された果実はいずれも品種固有の形状や大きさを示し、糖度が高く食味のよいものに仕上がっております。これは、適正な肥培管理や病害虫防除など優れた栽培管理の成果であり、栽培技術の高さがうかがえます。

第4部 野菜

出品点数は392点で、開催地の平鹿からの出品が104点で最も多く、次いで仙北54点、山本51点となっております。県北・中央・県南別の割合は、それぞれ38%、15%、47%で県南から多く出品されております。

種類別では、葉菜類が58%と最も多く、次いで果菜類が28%、根菜・いも類が14%の比率となっております。

本年は初夏の日照不足、その後の高温が作物の生育に影響しました。果菜類ではキュウリやトマト、葉菜類ではネギやキャベツ、根菜類ではヤマノイモやサトイモが該当し、例年より出品が少ないものも見られます。このような条件下でも、出品財は、適切に肥培管理され、品質が高水準に維持された努力

が認められます。

品目別には、ネギは県全域からの出品がみられ、品質も地域格差が少なく、広域的に定着してきた感があります。ハウレンソウは開催地を中心に市場性の高いものが出品され、主産地として技術の高さが認められます。キャベツは県北を中心に出品が多い特徴が見られます。セリやピーマン、キュウリ、トマト、ミニトマト、イモ類は出品に地域性があるものの、高品質なものが多く、産地で高度な栽培技術が共有されていることがうかがわれます。

第5部 花き

出品点数は195点で、地域別では秋田が最も多く、次いで由利、仙北となっております。類別では1類の切花類が173点、4類の種苗類が22点となっており、2類の枝物と3類の鉢物の出品はありません。品目別ではダリアが69点で最も多く、次いでキク類52点、リンドウ25点であり、近年、本県が生産振興に取り組んできた品目を中心とした出品構成となっております。

本年は、6月下旬から8月上旬までの多雨、寡日照と8月下旬以降の猛暑などの気象条件により、収穫期が前進または遅延した品目があり、種苗交換会への出品に向けては栽培管理が難しい年となっております。このような条件下でも、市場性の高い秀品が数多く出品されております。

ダリアは、県重点品目の一つであり、昨年に続いて出品点数が最も多い品目となっております。品種構成は県オリジナル品種の「NAMAHAGEダリア」が中心であり、いずれの出品財も、花型や花色の多彩な品種特性がよく発揮されております。リンドウは青色品種を中心に、花色や葉色が鮮やかで花段数が多くボリューム感のある出品財が多くあります。トルコギキョウは、出品点数は少ないものの、流行のフリンジ咲き品種を中心に、側枝や花蕾をかき大輪に仕立てた高品質な出品財がみられます。本県の基幹品目であるキク類では、輪ギクの出品数は少なくなっておりますが、スプレーギクやスプレードギクのわき芽をかき一輪仕立てとしたデイスパッドマムが増えており、洋花指向の需要を捉えた品種への変遷が見られます。種苗類では、株摘みの良いパンジー・ビオラ類が数多く出品されております。

今回の花き部門では、受賞者を始めとするリーダー層から若年層まで、幅広い年代からまんべんなく出品があり、本県花き産業の持続的発展が期待されます。

第6部 農林園芸加工品

農林園芸加工品では、漬物10点、瓶詰8点、味噌・糍類6点、乾燥野菜類6点、飲料4点、その他加工品などが出品されております。

本年の特徴として、開催地の食文化などを反映して、発酵食品が例年より多く出品されております。

味噌・糍類では、おかず(調味)味噌が、また、漬物ではいぶり漬げが多く出品されております。本年は菓子類の出品がなかったのが残念です。

農林工芸品は、例年以上に多く出品されております。いずれも力作であり、伝統的なデザインで技術の高さがうかがわれます。

第7部 畜産品及び飼料

出品点数は25点で、畜産品11点、飼料14点となっております。

畜産品では、はちみつが9点、鶏卵が2点出品されており、はちみつは、アカシアを蜜源としたものが3点、トチが4点、百花蜜(ひゃっかみつ)が2点で、地域別では由利が4点、鹿角及び平鹿が2点、秋田が1点となっております。全県的に開花期間は例年よりも短い傾向でしたが、採蜜量は平年並みになっております。

出品財は、いずれも鮮明度・色沢に優れたものが多く、香気・風味ともに良好で樹種の特徴をよく備えており、糖度も充分で良い品質となっております。

飼料は、イネホールクロップサイレージが10点、乾牧草が4点の出品であり、地域別では仙北及び平鹿がそれぞれ5点で、由利が4点です。

本年の気象経過から、一番草の生育は良好で、適期に収穫・調製がなされており、品質の優れたものが多く出品されております。

入賞した出品財は飼料自給率向上のための積極的な取り組みの成果から、穂及び茎・葉の割合、品質調整が適切で、雑草等の混入も少なく、触感、香気に優れた良質な基礎飼料となっております。

第8部 林産品

出品点数は100点で昨年より69点多くなっております。品目別では「生しいたけ」92点、「乾しいたけ」3点、「なめこ」4点、「ぶなしめじ」1点となっております。その中で、生産額において県内の主要農産品目となっている生しいたけは、出品点数の9割を占め、それぞれの品質格差が非常に少なくなっているとともに、肉厚で鮮度の良いものが出品されております。

「乾しいたけ」は、カサ表面の花模様が白から薄茶色で割れ目がはっきりしており、高品質のものが出品されております。「なめこ」は、原木栽培特有の肉厚で鮮明な色沢と雑物の付着が少ない、形状・品質の揃った出品財となっており、全体的に品質格差の少ない、高品質のものが多く出品されております。

品目別入賞点数は、「生しいたけ」が18点、「乾しいたけ」が1点となっており、いずれも高品質で、特にカサの色沢が鮮明で付着物が少ないなど、生産技術の高さがうかがわれます。

学校農園展審査講評

秋田県教育庁南教育事務所雄勝出張所

指導主事 阿部 広美

今年度の第38回秋田県学校農園展には中学校1校、小学校6校、特別支援学校8校の計15校から御応募をいただきました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながらの農園活動となり、計画通りにできなかったこともあったと思いますが、その中でも仲間や地域の方と共に活動する様子が、農作物や活動記録、作文から感じられ、とてもうれしく思います。

サツマイモを中心に、ジャガイモやキャベツ、水稲やかぼちゃなど、たくさんの農作物が出品されました。また、地域の特産品であるネギや里芋、にんじんなどの栽培に挑戦した学校や、しそや大根を加工して出品した学校もありました。すべての農作物や加工品をただ栽培・加工するだけでなく、地域の特色や地域素材のよさを生かしながら作られていました。

各学校の活動記録は、各校で取り組んだ作業について一目で分かるように工夫してまとめられていました。活動中の子どもたちの写真が多数添えられていましたが、畝づくりや種まき、水やり真剣に取り組んでいる様子や、満面の笑顔で収穫している様子も見られ、収穫の喜びや仲間と共に活動することの楽しさが感じられました。また、地元の野菜に注目して、その作物の歴史などの調査内容や、6次化産業につながる取組をまとめるなど、農作物を育てたり加工したりするを通して、子どもたちは様々な知識や技能を身に付けることができたと感じました。

作文には「友達と協力して作業することの大切さ」や「苦労した作業を乗り越えた後に感じる喜び」、「農園活動に協力してくださった地域の方々への感謝」など、農園活動を通して感じたことや学んだことが素直に表現されていました。中でも「いろいろな生物がいるから稲が大きく育つことが分かった」という言葉が印象的でした。農作物だけでなく、そこに住み着く生物にも目を向けることができたことは、とても素晴らしいと感じました。また、地域の特産物、伝統野菜の栽培を通しながら、地域の方との交流を深めている様子が伝わってくる作文がたくさんありました。農作物の栽培をきっかけとした人と人との交流も、かけがえのないものだと思います。新型コロナウイルス感染拡大防止への対応から、地域の方との交流が減ってしまったことに残念な気持ちをもちながらも、地域のために貢献したい、地域の皆さんに美味しい野菜を届けたいという思いで、しっかりと前を向いて歩き続けていた子どもたちの姿勢に感動しました。

作物を育てる過程においては、体力的に大変な作業を伴うことや天候の影響により作業が思うように進まないことがあります。そのような経験を通して、子どもたちはたくさんのことに気づき、学び、豊かな心を育み、自分が生まれ育った場所のよさを再認識し、郷土を愛する気持ちを強くします。また、働くことの大切さや将来の自分の生き方について考えるきっかけにもなります。様々な連絡や調整によりこのような機会を作ってくださった先生方、そして、子どもたちのために協力してくださった地域の方々や関係者の皆様の多くの支えに感謝申し上げます。今年度、横手市で開催された学校農園展をきっかけに、農作物づくりに関心をもつ子どもが更に増えることを期待しています。

受賞者

記載は、種類・品種名・市町村名・J A名・受賞者名の順。

農林水産大臣賞

水 稲
株 大 豆
り ん ぎ
ネ 切花(ダ リ ア)
ト マ ト 加 工 品
イネホールクroppサイレージ
生 し い た け

ゆ め お ば こ
リ ュ ウ ホ ウ
秋 田 紅 あ か り
大 河 の 轟 き
N A M A H A G E プリティ
た れ
あ き た こ ま ち
北 研 705 号

大 仙 市
秋 田 市
鹿 角 市
湯 沢 市
大 館 市
大 仙 市
大 仙 市
横 手 市

秋 田 お ば こ
秋 田 な ま は げ
か づ の
こ ま ち
あ き た 北
秋 田 お ば こ
秋 田 お ば こ
秋 田 ふ る さ と

須 田 喜 彦
石 井 健
木 村 光 夫
佐 藤 義 粹
藤 盛 久 登
木 元 さ と み
菅 野 恵 介
藤 原 信 博

秋 田 県 知 事 賞

水 稲
水 稲
水 稲
水 稲
水 稲
水 稲
株 大 豆
大 豆
大 豆
葉 た ば こ
葉 た ば こ
ホ ッ プ
日 本 な し
ぶ り ん ざ
り ん ざ
キ ャ ベ ツ
キ ュ ウ リ
サ ト モ
ト マ ト
ネ ギ
ネ ギ
ホ ウ レ ン ソ ウ
ホ ウ レ ン ソ ウ
ミ ニ ト マ ト
ヤ マ ノ イ モ
切花(ダ リ ア)
切花(ディスパッドマム)
切花(トルコギキョウ)
切花(リンドウ)
種苗(パンジー)
ジ ュ ー ス
ト マ ト 加 工 品
は ち み つ

あ き た こ ま ち
あ き た こ ま ち
た つ こ も ち
め ん こ い な
め ん こ い な
ゆ め お ば こ
リ ュ ウ ホ ウ
リ ュ ウ ホ ウ
リ ュ ウ ホ ウ
第 1 パ ー レ ー 種 た い へ い
第 1 パ ー レ ー 種 た い へ い
キ リ ン 2 号
あ き づ き
シ ャ イ ン マ ス カ ッ ト
秋 田 紅 あ か り
秋 田 紅 あ か り
サ ン ふ じ
Y C R こ ん ご う
ワ ン ト ッ プ
土 麗 垂
源 月 翠
大 河 の 轟 き
ド ン キ 一
福 兵 衛
サ ン チ ェ リ ー ピ ュ ア
大 館 1 号
N A M A H A G E プリティ
ロ サ ー ノ シ ャ ル ロ ッ テ
セ レ プ リ ッ チ ホ ワ イ ト
深 山 秋
パ シ オ ク リ ア ブ ル ー
葡 萄 の し ず く
た れ
ア カ シ ア

井 川 町
大 仙 市
大 仙 市
大 仙 市
横 手 市
大 仙 市
大 館 市
大 館 市
鹿 角 市
仙 北 市
大 館 市
大 湯 上 市
横 手 市
鹿 角 市
北 秋 田 市
鹿 角 市
能 代 市
羽 後 町
横 手 市
東 成 瀬 村
能 代 市
湯 沢 市
仙 北 市
横 手 市
由 利 本 荘 市
大 館 市
大 館 市
横 手 市
羽 後 町
東 成 瀬 村
に か ほ 市
横 手 市
大 仙 市
由 利 本 荘 市

あ き た 湖 東
秋 田 お ば こ
秋 田 お ば こ
秋 田 お ば こ
秋 田 ふ る さ と
秋 田 お ば こ
秋 田 な ま は げ
あ き た 北
あ き た 北
か づ の
秋 田 お ば こ
あ き た 北
あ き た 湖 東
秋 田 ふ る さ と
か づ の
秋 田 た か の す
か づ の
あ き た 白 神
う ご
秋 田 ふ る さ と
こ ま ち
あ き た 白 神
こ ま ち
秋 田 お ば こ
秋 田 ふ る さ と
秋 田 し ん せい
あ き た 北
あ き た 北
秋 田 ふ る さ と
う ご
こ ま ち
秋 田 し ん せい
秋 田 ふ る さ と
秋 田 お ば こ
秋 田 し ん せい

渡 部 津代志
佐 藤 尚 志
中 嶋 洋 子
佐々木 雅 憲
谷 口 久 寿
須 田 喜 彦
石 井 健
(農)立花ファーム
代表理事 長崎祥悦郎
向田大豆種子生産組合
阿 部 文 好
木 村 明 夫
吉 原 正
石 川 玉 夫
高 橋 陽 悦
木 村 光 夫
齋 藤 理 喜 郎
佐 藤 志 峰
工 藤 美 樹 男
長 谷 山 薫
田 代 和 博
佐々木 茂
清 水 健 吾
佐 藤 義 粹
田 中 仁
(農)館合ファーム
代表 小西倉之助
今 野 純 一
松 澤 幹 基
藤 盛 久 登
菊 地 忠 真
齋 藤 伸 一
古 谷 実
奥 山 和 栄
秋 田 田 協 同 組 合
木 元 さ と み
小 松 智

イネホールクroppサイレージ	あ き た こ ま ち	大 仙 市	秋 田 お ば こ	菅 野 恵 介
生 し い た け	北 研 705 号	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	柿 崎 文 夫
生 し い た け	北 研 705 号	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	藤 原 信 博
生 し い た け	北 研 705 号	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	佐 藤 宏 和

全国農業協同組合中央会会長賞

水 稲	あ き た こ ま ち	大 仙 市	秋 田 お ば こ	佐 藤 尚 志
大 豆	リ ュ ウ ホ ウ	大 館 市	あ き た 北	向 田 大 豆 種 子 生 産 組 合
日 本 な し	あ き づ き	潟 上 市	あ き た 湖 東	石 川 玉 夫
キ ュ ウ リ	ワ ン ト ッ プ	羽 後 町	う ご	長 谷 山 薫
切花(リンドウ)	深 山	東 成 瀬 村	こ ま ち	古 谷 実
トマト加工品	た れ	大 仙 市	秋 田 お ば こ	木 元 さ と み
は ち み つ	ア カ シ ア	由 利 本 荘 市	秋 田 し ん せ い	小 松 智 夫
生 し い た け	北 研 705 号	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	柿 崎 文 夫

各 部 優 秀 賞

全国農業協同組合連合会秋田県本部運営委員会会長賞	ヤ マ ノ イ モ	大 館 1 号	大 館 市	あ き た 北	松 澤 幹 基
全国農業協同組合連合会秋田県本部運営委員会会長賞	切花(トルコギキョウ)	セ レ プ リ ッ チ ホ ワ イ ト	羽 後 町	う ご	齋 藤 伸 一
秋田県厚生農業協同組合連合会経営管理委員会会長賞	り ん ご	サ ン ふ じ	鹿 角 市	か づ の	佐 藤 志 峰
全国共済農業協同組合連合会秋田県本部運営委員会会長賞	ホ ッ プ	キ リ ン 2 号	大 館 市	あ き た 北	吉 原 正
秋田県農業共済組合組合長賞	水 稲	め ん こ い な	大 仙 市	秋 田 お ば こ	佐 々 木 雅 憲
秋田県畜産農業協同組合組合長賞	イネホールクroppサイレージ	あ き た こ ま ち	大 仙 市	秋 田 お ば こ	菅 野 恵 介
秋田県農業公社理事長賞	大 豆	リ ュ ウ ホ ウ	大 館 市	あ き た 北	(農)立花ファーム 代表理事 長崎祥悦郎
秋田県農業会議会長賞	ジ ュ ー ス	葡 萄 の し ず く	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	秋 田 ふ る さ と 農 業 協 同 組 合
農林中央金庫秋田支店長賞	ホ ウ レ ン ソ ウ	ド ン キ ー	仙 北 市	秋 田 お ば こ	田 中 仁
秋田市市長会会長賞	生 し い た け	北 研 705 号	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	佐 藤 宏 和
秋田県町村会会長賞	ト マ ト	麗 月	東 成 瀬 村	こ ま ち	佐 々 木 茂

特 別 賞

全国たばこ耕作組合中央会会長賞	葉 た ば こ	第 1 バ ー レ ー 種 たい へ い	仙 北 市	秋 田 お ば こ	木 村 明 夫
日本たばこ産業株式会社東日本原料本部長賞	葉 た ば こ	第 1 バ ー レ ー 種 たい へ い	鹿 角 市	か づ の	阿 部 文 好
秋田県たばこ耕作組合組合長賞	葉 た ば こ	第 1 バ ー レ ー 種 たい へ い	鹿 角 市	か づ の	阿 部 文 好
秋田県たばこ耕作組合組合長賞	葉 た ば こ	第 1 バ ー レ ー 種 たい へ い	仙 北 市	秋 田 お ば こ	木 村 明 夫
秋田魁新報社賞	切花(ディスプレイマム)	ロ サ ー ノ シ ャ ル ロ ッ テ	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	菊 地 忠 真

家の光協会会長賞

水	稲	めんこいな	横手市	秋田ふるさと	谷口久寿
日本農業新聞会長賞					
ぶど	う	シャインマスカット	横手市	秋田ふるさと	高橋陽悦

1 等 賞

水	稲	あきたこまち	井川町	あきた湖東	渡部津代志
			秋田県知事賞と受賞者と同じ		ほか38名

2 等 賞

水	稲	あきたこまち	能代市	あきた白神	木村 徹
水	稲	あきたこまち	八郎湯町	あきた湖東	桜庭 吉友
水	稲	あきたこまち	井川町	あきた湖東	鎌田 ヒナ子
水	稲	あきたこまち	大湯村	大湯村	松橋 勝悦
水	稲	あきたこまち	大仙市	秋田おばこ	須田 忠一
水	稲	あきたこまち	五城目町	あきた湖東	小玉 重博
水	稲	あきたこまち	秋田市	秋田なまはげ	鹿野 戸 転 組 合
株	大豆	リュウホウ	秋田市	あきた湖東	鹿野 戸 転 組 合
大	大豆	リュウホウ	五城目町	あきた湖東	鹿野 戸 転 組 合
大	大豆	リュウホウ	湯上市	あきた湖東	鹿野 戸 転 組 合
大	大豆	リュウホウ	秋田市	秋田なまはげ	鹿野 戸 転 組 合
葉	こ	第1パーレー種たいへい	大館市	あきた北	山下 鉄則
葉	こ	第1パーレー種たいへい	大仙市	秋田おばこ	工藤 正義
葉	こ	第1パーレー種たいへい	横手市	秋田ふるさと	長沼 昇
葉	こ	第1パーレー種たいへい	横手市	秋田ふるさと	土場 吉蔵
ホ	ブ	キリン 2号	大館市	あきた北	嶋山 豊実
ホ	ブ	キリン 2号	横手市	秋田ふるさと	佐藤 岳由
日	し	あきぎづ	三種町	秋田やまもと	野呂 田 雅彦
日	し	あきぎづ	男鹿市	秋田なまはげ	鈴木 作雄
日	し	あきぎづ	湯上市	あきた湖東	高橋 拓人
日	し	あきぎづ	男鹿市	秋田なまはげ	高橋 作雄
ぶり	し	あきぎづ	横手市	秋田ふるさと	鈴木 靖之
り	し	あきぎづ	大館市	あきた北	石垣 博隆
り	し	あきぎづ	横手市	秋田ふるさと	田中 正博
り	し	あきぎづ	湯沢市	こまち	遠藤 幸作
り	し	あきぎづ	横手市	秋田ふるさと	千田 慶咲
り	し	あきぎづ	横手市	秋田ふるさと	岸 政人
り	し	あきぎづ	横手市	秋田ふるさと	佐藤 祐樹
り	し	あきぎづ	横手市	秋田ふるさと	織田 孝太郎
り	し	あきぎづ	湯沢市	こまち	高橋 久志
り	し	あきぎづ	横手市	秋田ふるさと	栄選 果場
カ	し	あきぎづ	北秋田市	秋田たかのす	津谷 時夫
キ	し	あきぎづ	三種町	秋田やまもと	宮田 久美子
キ	し	あきぎづ	北秋田市	秋田たかのす	大野台グループ
キ	し	あきぎづ	大湯村	大湯村	松井 エイ子
キ	し	あきぎづ	大仙市	秋田おばこ	加藤 幸子
キ	し	あきぎづ	羽後町	うご	平柳 鉄也
サ	し	あきぎづ	横手市	秋田ふるさと	藤田 昭一
ト	し	あきぎづ	美郷町	秋田おばこ	梅川 梢
ニ	し	あきぎづ	横手市	秋田ふるさと	藤田 弘子
ネ	し	あきぎづ	横手市	秋田ふるさと	小坂 正守
ネ	し	あきぎづ	能代市	あきた白神	小齊 藤村
ネ	し	あきぎづ	横手市	秋田ふるさと	木村 幸夫
ネ	し	あきぎづ	横手市	秋田ふるさと	藤原 幸崇

ホウレンソウ	福兵衛	横手市	秋田ふるさと	古内誠一
ホウレンソウ	ミラー ジュ	横手市	秋田ふるさと	伊藤美緒
ミニトマト	サマー千果	三種町	秋田やまもと	桧森アキ子
ミニトマト	サンチェリーピュア	にかほ市	秋田しんせい	石垣雅司
ミニトマト	サンチェリーピュア	由利本荘市	秋田しんせい	(農)田高善行 代表理事 齋藤
ヤマノイモ	サンチェリーピュア	由利本荘市	秋田しんせい	半田弘子
ヤマノイモ	丹波	北秋田市	秋田たかのす	長岐琢未
切花(スプレーギク)	丹波	北秋田市	秋田たかのす	伊藤清一
切花(スプレーギク)	インヤン X X L	横手市	秋田ふるさと	加藤勉子
切花(ダリア)	セイヒラリ	横手市	秋田ふるさと	斉藤恵子
切花(ダリア)	NAMAHAGE REIWA	秋田市	秋田なまはげ	鎌田和男
切花(ダリア)	NAMAHAGE ノンチャン	大館市	あきた北	渡辺寛子
切花(ダリア)	NAMAHAGE レディ	大館市	あきた北	高松玲奈
切花(ダリア)	NAMAHAGE クリムゾン	横手市	秋田ふるさと	羽川和宏
切花(ダリア)	NAMAHAGE チーク	にかほ市	秋田しんせい	須藤孝子
切花(ダリア)	NAMAHAGE パール	仙北市	秋田おばこ	石橋鮎美
切花(ダリア)	かまくら	大仙市	秋田おばこ	菊地孝也
切花(ダリア)	シャイニーオレンジ	秋田市	秋田なまはげ	京極順哉
切花(ダリア)	マーメイド	秋田市	秋田なまはげ	伊藤錚悦
切花(ディスプレイ)	セイハウエル	大仙市	秋田おばこ	田村辰徳
切花(ヒマワリ)	サンリッチフレッシュオレンジ	大仙市	秋田おばこ	(南)弥加藤 栄弘 代表取締役 地昇一
切花(リンドウ)	深山秋	藤里町	あきた白神	菊地昇一
切花(リンドウ)	深山秋	由利本荘市	秋田しんせい	小松金義
切花(宿根アスター)	マク II	羽後町	うご	佐藤裕人
切花(小ギク)	精あきみず	横手市	秋田ふるさと	渡部賢義
切花(小ギク)	精しのめ	横手市	秋田ふるさと	運藤正
切花(輪ギク)	精の一世	男鹿市	秋田なまはげ	吉田洋平
切花(輪ギク)	精の一世	大仙市	秋田おばこ	田村辰徳
種苗(パンジー)	パノラローズピコティ	にかほ市	秋田しんせい	渡辺可奈子
種苗(パンジー)	マトリックスイエローブロッチ	にかほ市	秋田しんせい	横山大祐
種苗(パンジー)	マトリックスサンライズ	にかほ市	秋田しんせい	戸蒔悠
種苗(ピオラ)	フローラルパワーゴールドパープルウイング	にかほ市	秋田しんせい	斉藤寛芳
漬物	ぬか漬(いぶり大根漬)	横手市	秋田ふるさと	横手こだわり七味会 代表 大山美美子 (農)なるせ加工研究会 代表理事 谷藤トモ子
瓶詰	ほっこりなるせみそセット	東成瀬村	こまち	高橋美津子
民芸品	エコクラフトバック	横手市	秋田ふるさと	伊藤久
民芸品	ケラ	大仙市	秋田おばこ	森田照雄
民芸品	米俵(大)	横手市	秋田ふるさと	東海林養鶏場 代表 林海林
鶏卵	至福のたまご 黄身の余韻(6ヶ入)	横手市	秋田ふるさと	勝田尚
はちみつ	トチ	鹿角市	かづの	相庭幸子
イネホールクroppサイレージ	めんこいな	由利本荘市	秋田しんせい	(農)十二社担い手生産組合 代表 本間恒
イネホールクroppサイレージ	ゆめあおば	横手市	秋田ふるさと	田村小百合
生しいたけ	K A 1001 号	八峰町	秋田やまもと	柴田朋子
生しいたけ	北研 607 号	横手市	秋田ふるさと	木村功
生しいたけ	北研 705 号	小坂町	かづの	佐藤伸悦
生しいたけ	北研 705 号	横手市	秋田ふるさと	佐藤久嘉
生しいたけ	北研 705 号	横手市	秋田ふるさと	後藤秀明
生しいたけ	北研 705 号	横手市	秋田ふるさと	佐藤誠洋
生しいたけ	北研 705 号	横手市	秋田ふるさと	熊切達也
生しいたけ	北研 705 号	横手市	秋田ふるさと	佐々木比古 門
生しいたけ	北研 705 号	横手市	秋田ふるさと	近剛 治
生しいたけ	F 103 (菌王 10 号)	横手市	秋田ふるさと	佐藤 仁

顕彰状に輝く人々

種 類		市 町 村 名			J A 名			受 賞 者 名							
ヤ	マ	ノ	イ	モ	大	館	市	あ	き	た	北	津	嶋	清	二
ダ	イ	コ	ソ	ン	三	種	町	秋	田	や	ま	松	森	安	孝
ホ	ウ	レ	ソ	ウ	仙	北	市	秋	田	お	ば	嶋	山	良	夫
ダ		リ		ア	秋	田	市	秋	田	な	ま	古	屋	久	勝

第38回秋田県学校農園展受賞校

最 優 秀 賞	1 席	秋 田 県 知 事 賞	N H K 秋 田 放 送 局 長 賞	秋 田 県 立 栗 田 支 援 学 校
優 秀 賞	2 席	秋 田 県 教 育 委 員 会 教 育 長 賞		横 手 市 立 山 内 小 学 校
優 良 賞		家 の 光 協 会 会 長 賞		秋 田 県 立 大 曲 支 援 学 校
優 良 賞				秋 田 県 立 比 内 支 援 学 校 か づ の 校
優 良 賞				秋 田 県 立 比 内 支 援 学 校
優 良 賞				大 館 市 立 第 一 中 学 校
優 良 賞				秋 田 県 立 能 代 支 援 学 校
				湯 沢 市 立 雄 勝 小 学 校

他 参 加 校	秋 田 県 立 比 内 支 援 学 校	た か の す 校	横 手 市 立 横 手 北 小 学 校
	能 代 市 立 淳 城 西 小 学 校		横 手 市 立 栄 小 学 校
	秋 田 県 立 聴 覚 支 援 学 校		秋 田 県 立 横 手 支 援 学 校
	大 仙 市 立 高 梨 小 学 校		

第39回秋田県産米品評会

本年度は新型コロナウイルスの感染拡大を避けるため、秋田県産米改良展での出品物の展示を行わないこととしました。

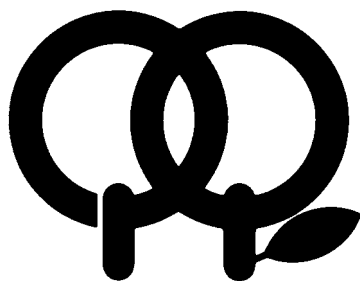
記載は、種類・品種名・市町村名・JA名・受賞者名の順。

秋田県産米改良協会会長賞

最優秀賞	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	由利本荘市	秋田しんせい	庄司 斉
	水稲うるち玄米	秋のきらめき	鹿角市	かづの	大西 巖
	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	由利本荘市	秋田しんせい	佐藤 孝樹
	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	由利本荘市	秋田しんせい	齋藤 靖
	水稲うるち玄米	あきたこまち	東成瀬村	こまち	高橋 弘克
	水稲うるち玄米	あきたこまち	鹿角市	主食集荷組合	小田切 良一
	醸造用玄米	秋田酒こまち	湯沢市	こまち	岩村 力男
優秀賞	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	にかほ市	秋田しんせい	斎藤 千鶴
	水稲うるち玄米	あきたこまち	鹿角市	かづの	加賀 唯司
	水稲うるち玄米	あきたこまち	鹿角市	かづの	相馬 功
	水稲うるち玄米	あきたこまち	鹿角市	かづの	（株）八幡平地域経営公社
	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	由利本荘市	秋田しんせい	佐々木 金美
	水稲うるち玄米	あきたこまち	小坂町	かづの	奈良 延浩
	水稲うるち玄米	あきたこまち	由利本荘市	秋田しんせい	猪股 生弥
優良賞	水稲うるち玄米	あきたこまち	鹿角市	かづの	小笠原 茂
	水稲うるち玄米	あきたこまち	羽後町	こまち	畑山 靖之
	水稲うるち玄米	あきたこまち	三種町	秋田やまもと	工藤 広一
	水稲うるち玄米	あきたこまち	秋田市	秋田なまはげ	長谷部 和夫
	水稲うるち玄米	あきたこまち	大館市	あきた北	畠山 繁司
	水稲うるち玄米	あきたこまち	羽後町	うご	高橋 直之
	水稲うるち玄米	あきたこまち	能代市	あきた白神	よねしろファーム（工藤重隆）
	水稲うるち玄米	あきたこまち	大館市	あきた北	畠山 豊実
	水稲うるち玄米	あきたこまち	上小阿仁村	秋田たかのす	畠山 貢
	水稲うるち玄米	あきたこまち	大仙市	秋田おぼこ	佐々木 千代子
	醸造用玄米	秋田酒こまち	由利本荘市	秋田しんせい	木内 啓一

特別賞

農林水産省政策統括官賞	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	由利本荘市	秋田しんせい	庄司 斉
農林水産省東北農政局長賞	水稲うるち玄米	秋のきらめき	鹿角市	かづの	大西 巖
秋田県知事賞	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	由利本荘市	秋田しんせい	佐藤 孝樹
秋田県農業協同組合中央会代表理事会長賞	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	由利本荘市	秋田しんせい	齋藤 靖
全国農業協同組合連合会秋田県本部県本部長賞	水稲うるち玄米	あきたこまち	東成瀬村	こまち	高橋 弘克
秋田県主食集荷商業協同組合理事長賞	水稲うるち玄米	あきたこまち	鹿角市	主食集荷組合	小田切 良一
秋田県酒米生産流通対策協議会会長賞	醸造用玄米	秋田酒こまち	湯沢市	こまち	岩村 力男



シンボルマークの説明

~~~~~

公募により昭和52年8月11日制定。  
左の円形で秋田の頭文字「ア」を表し、右の円形で若芽の伸びる姿を圖案化したもの。また、この2つの輪が農業県秋田の限らない躍進と県民の和を象徴する。

作者 鈴木晴夫氏（秋田市）